

平成22年3月31日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社  
代表者名：代表取締役社長 鳥原 光憲  
(コード：9531 東証・大証・名証第1部)  
問合せ先：総務部総務グループマネージャー 丸山 達哉  
(TEL：(03) - 5400 - 3894)

## クイーンズランド・カーティスLNGプロジェクトからの液化天然ガス(LNG)購入 および同プロジェクトへの参画に関する基本合意書の締結について

当社は、BG グループ(代表者：Mr. Frank Chapman、以下「BG」)との間で、下記のとおり基本合意書に調印致しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 基本合意の概要

当社とBGは、BGがオーストラリアのクイーンズランド州で推進しているクイーンズランド・カーティスLNGプロジェクトからの液化天然ガス(以下、「LNG」)の購入および同プロジェクトへの参画に関し、以下の内容について協議を進めていくことに合意いたしました。

- (1) 売主：BG Group plc (ビージー・グループ・ピーエルシー)
- (2) 買主：東京瓦斯株式会社
- (3) 契約期間：2015年から20年間
- (4) 契約数量：120万トン/年
- (5) 受渡条件：Ex-ship(着栈渡し)
- (6) 上流権益：ガス田1.25%、第2液化トレイン2.5%の権益譲渡

#### 2. 理由

本プロジェクトは、クイーンズランド州のスラット(Surat)盆地中心の石炭層に存在する天然ガス「コール・ベッド・メタン(Coal Bed Methane、以下「CBM」)」を、カーティス島で液化天然ガスにして出荷するものです。オーストラリアには、在来型ガスを超える豊富な量のCBMが存在し、LNG供給源として、大きな役割が期待されています。当社は、立ち上げ買主の一社として、世界初と期待されるCBM-LNGプロジェクトを支援することで、LNG供給可能数量の増大に貢献するとともに、CBM-LNGの受け入れにより、LNG調達の選択肢が大きく広がることとなります。今回の基本合意は、当社とBGの初めての長期契約であり、日本のエネルギー事業者として初めてCBM-LNGの購入およびプロジェクトへの参画となります。BGとの強力なパートナーシップを通じ、競争力のあるLNGを安定的に確保し、またLNGバリューチェーンにおける事業を積極的に展開できるものと期待しております。

当社は、「2009年度～2013年度グループ中期経営計画」において上流・海外事業への1,500億円程度の投資を予定しており、本プロジェクトへの参画はその一部となります。なお、具体的な金額につきましては協議中であり現時点で未定です。

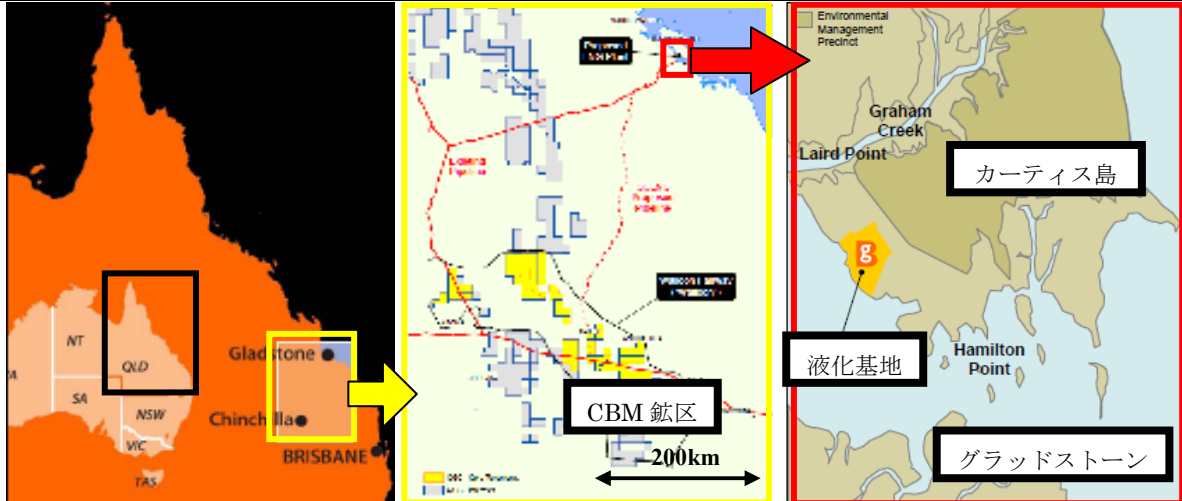
#### 3. 今後の見通し

今後、当社は本プロジェクト参画およびLNGの売買契約の詳細についてBGと協議して参ります。

以上

(参考)

### <クイーンズランド・カーティス LNG プロジェクトの概要>

ガス田:	オーストラリア クイーンズランド州スラット(Surat)盆地を中心とする CBM 鉱区
埋蔵量:	約 17.3 兆立方フィート(Tcf) (約 4,600 億 m <sup>3</sup> ) (資源量を含む)
液化能力:	400 万 t/年×2 系列=800 万 t/年
出荷基地:	カーティス島 グラッドストーン
地図:	

### <CBM について>

- CBM はシェールガスやタイトサンドガスと並ぶ非在来型ガスの一種で、石炭層に存在する微細な亀裂(クリーク)の表面に天然ガスが吸着しているものです。
- 米国では 1980 年代から商業生産しており同国内の天然ガス消費量の約 10%を占めます。オーストラリアでは 2000 年代に入り本格的に利用されており、資源量は約 350Tcf とされます。

### <BG の概要>

社名:	BG Group plc (ビージー・グループ・ピーエルシー)
住所:	100 Thames Valley Park Drive, Reading, Berkshire, United Kingdom
代表者:	Mr. Frank Chapman (フランク・チャップマン)
事業概要:	BG は、原油および天然ガスの探鉱、開発、輸送、供給、発電に関する統合的な事業を行っており、エジプト、トリニダード・トバゴなどにおける LNG 開発に携わっています。年間 LNG 取扱量は約 1,400 万トンに上り、スポット取引などによる日本への LNG 供給実績もあります。

以上